

五月度文豪大賞・入賞



大賞



入賞

「ナイチンゲール」を読んで

六年

私は、ナイチンゲールを読んで、ナイチンゲールの心の優しさ、そして心の強さを知りました。

私がナイチンゲールを読もうと思った理由は、女の人が仕事をもつて生きる道を切り開いた人は、どんな人なのか。ということに興味があったからです。私は、ナイチンゲールは、看護婦なので、優しい心をもった女性で、強い心は、持つていないだろうと思つていました。でも、よく読むと優しい心だけでなく強い心も持ち、たくさんの人の苦しみをやわらげて、くれていたという事が分かりました。そして、私がこの本を読み、びつくりしたことが二つあります。まず、一つ目は、病院というところは、家族がいない人や、貧しい人が、しかたなく入る所だったという事です。私は、病院というと「清潔な場所」で病気をしつかり治してくれる」というイメージがあるので、びつくりしました。そして、二つ目は、当時看護婦はだらしない人と思われていた。という事です。今、私達の看護婦さんのイメージは、やさしく、先生の手助けをしつかりしている。というイメージなので、この二つには、とてもびつくりしました。

20 x 20

「ヘレン・ケラー」を読んで

六年

私がこの本を読んだ理由は、三重苦をのりこえ、目や耳の不自由な人たちのためにつくしたヘレン・ケラーは、どんな人生をおくつたのか知りたかつたからです。

この本を読んでいくと、私は、ヘレンに五十年間寄りそつて生きたサリバン先生の伝記は、なぜないのだろうか？と思いました。サリバン先生の伝記があれば、ぜひ、一度読んでみたいです。

ヘレンの人生の中で、私が最もおどろいたことは、ヘレンがハーバード大学に受かつたことです。ふつうの人でもなかなか入れないのに、目も耳も不自由なヘレンが受かつたのは、他の人以上に努力し、そして、図形などの問題や先生などのお話を、いちいち手で教えたサリバン先生もすごいなあと思えました。ヘレンは日本に、三度訪問しています。その時、ひ書のトムソンと着物を着た時の写真

20 x 20

私に命をくれたことをただけです。」という言葉は、少しがうと、思いました。たしかに、ナイチンゲールは、「神の声」を聞いたことが原因で看護婦になったのかもしれない。しかし、ナイチンゲールが人々から、そんな敬されてきたのは、ナイチンゲール自身が努力し、がんばつたからだと思えました。

だから私は、ナイチンゲールのように、「自分にはできない、大切なこと」を見つけ、だれかの役に立てる、そんな仕事したい。と思えました。

◆ 自分にしかできない大切なことを見つけ努力する姿に感動します。

◆ ナイチンゲールがどんな人でどんなところに魅力を感じたかがうまくまとめられている。

◆ 病院や看護師の昔と今に注目しているところがよいです。またナイチンゲールの言葉を分析し、自分の意見を書いているところがすばらしい。

◆ 文章の構成がよくまた自分の考えをしつかりまとめてあります。

◆ ヘレンだけでなくサリバン先生にも目を向け評価している点がよい

◆ ヘレンケラーだけでなく、サリバン先生のすごさに気付いたところが素敵です。読みたい本が増えたことも

佳作